

平成27年(2015) 12月3日～7日

平成27年度(2015)

第4回出雲市議会(定例会)
一般質問通告一覧表

平成27年度（2015）第4回出雲市議会（定例会）
 一般質問通告一覧表 目次

12月3日（木） 10:00 開会			12月4日（金） 10:00 開会			12月7日（月） 10:00 開会		
順番	議員氏名	ページ	順番	議員氏名	ページ	順番	議員氏名	ページ
1	山代裕始	3	1	湯浅啓史	10	1	板垣成二	17
2	岸道三	4	2	小村吉一	11	2	井原優	18
3	珍部全吾	5	3	大場利信	12	3	寺本淳一	19
4	保科孝充	6	4	松村豪人	13	4	福代秀洋	20
5	川上幸博	7	5	福島孝雄	14	5	神門至	21
6	飯塚俊之	8	6	原正雄	15	6	米山広志	22
7	伊藤繁満	9	7	板倉一郎	16	7	勝部順子	23

質問者	28 山代裕始		
質問事項・質問内容		答弁を 求める者	記事
(1) 高齢者が元気に暮らせるまちづくりについて		市長	
① 高齢者が元気に暮らすための市の政策の基本的な考え方について ② 高齢者クラブへの補助金のあり方について			
(2) 出雲国際交流会館の管理運営について		市長	
① この施設の所有形態及び財産管理はどのような形態か ア 施設における市と民間との財産区分は イ 市は何に対し賃料をいくら払っているのか ウ 貸付金があると聞くが総額と残金は エ 土地は市有地だが、いくらで貸しているのか ② 公共施設でありながら施設の一部建物を民間から賃借し指定管理を行っているがこういう状況になった経緯は			

質問者	2	岸 道 三	
質問事項・質問内容		答 弁 を 求 め る 者	記 事
(1) ごみの減量化及び再資源化について		市長	
<ul style="list-style-type: none"> ① 市民及び事業者への意識啓発における現状の取り組み ② 9月補正予算のごみ減量化事業における具体的な内容 ③ ごみ減量化及び再資源化に向けての課題 ④ 次期可燃ごみ処理施設の建設を踏まえ、再資源化推進に向けた考え 			
(2) 小・中学生における問題行動等について		教育長	
<ul style="list-style-type: none"> ① 矢巾町、川崎市、寝屋川市の事案における所感 ② 近年の問題行動等における特徴と原因 ③ 問題行動等における市としての対策及び対処方法 			

質問者	32 珍 部 全 吾	
質問事項・質問内容		答 弁 を 求 め る 者
(1) 外国籍の出雲市民に対する対応		
<p>① 10月末現在市民は174,971人。内、外国籍の方々は2,709人である。市にとって人口増、経済面でも大きく貢献している。</p> <p>ア 外国人、中でもブラジル人の1,732人は、突出している。</p> <p>a ブラジル人に対する行政サービスは</p> <p>b 子供達の保育、学校、学童クラブに対しての市の対応は</p> <p>c 地域との交流実態は</p> <p>d 外国人に対して市の予算はどの程度か</p> <p>e 外国人住人に対する市長の基本的考えは</p>		市長
(2) 中学生議会について		
<p>① 先月、中学生議会が開催された。</p> <p>ア 市長の所感</p> <p>イ 答弁が堅苦しい感じを受けたが市長の感想は</p>		市長

質問者	1 2 保 科 孝 充		答 弁 を 求 め る 者	記 事
(1) 子どもの貧困対策と教育支援について伺う。			市長	
<p>① 出雲市の子どもの貧困対策について伺います。</p> <p>ア 貧困率は厚生労働省によると全国的に見ても年々上昇しているが出雲市ではどのような状況か。</p> <p>イ 出雲市のこどもの貧困対策はどのようなになっているか。</p> <p>② 出雲市の高校生・大学生等の奨学金制度について伺います。</p> <p>ア 制度の種類と貸与を受けている高校生・大学生の人数。</p> <p>イ 貸与申込者と決定者の人数。</p> <p>ウ 貸与が受けられなかった場合はどのような方法があるか。</p> <p>エ 貧富の差が大きくなっている状況の中で、奨学金制度等の教育支援を拡充することが必要と考えるがどうか。</p>				
(2) 出雲斐川中央工業団地への企業進出状況を伺う。			市長	
<p>① 7月末で造成工事が終了し、用地の確定、土地登記等を進めるとされていまして。4ヶ月経過しましたがその後の状況について伺います。</p> <p>ア 分譲面積と分譲価格。</p> <p>イ 企業立地優遇制度の拡充。</p> <p>② 企業の現地視察、問合わせの状況を伺います。</p> <p>ア 現地視察、問合わせのあった業種別企業数</p> <p>③ 予想される企業進出の決定時期</p>				
(3) 交通弱者に対する生活バスの充実を求める。			市長	
<p>① 「斐川生活バス」の利用状況を伺います。</p> <p>ア 乗客の多い曜日</p> <p>イ 下車場所の多い停留所</p> <p>ウ 概ねの乗車年齢</p> <p>② 「まめながタクシー」を出雲市内の各地域に拡大し、充実を図ることが交通弱者を支援する大きな力となると考えますがどうですか</p> <p>ア 利用者の利便を考慮し、予約時間・日時の変更は出来ないか。</p> <p>イ 道路が狭い集落などコミュニティバスの運行は適していると考えるがいかか。</p> <p>ウ 先進地の事例を研究して、現在の市バス事業全体に係わる費用と、コミュニティバスの運行を実現した場合の経費を算定し、比較検討することも必要であると考えるがいかか。</p>				

質問者	22 川上幸博	
質問事項・質問内容		答弁を 求める者
(1) マイナンバー制度について		
<p>① 個人番号が、来年1月に実施されるにあたり基本的な次の項目について答弁をお願いします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 郵送状況 イ 住民のマイナンバーに対する理解度 ウ 住民・行政のメリット、デメリット エ マイナンバーカードの必要性 オ 行政、企業のシステムセキュリティ対策 カ マイナンバーの防犯対策は 		総合政策 部長
(2) 農業の担い手育成の充実		
<p>① 新規就農におけるIターン、Uターン者の定住対策と農家内新規担い手への助成制度について</p> <p>② 所得倍増策が言われているが、出雲市としての対応策は</p>		農林水産 部長

質問者	13	飯塚俊之	
質問事項・質問内容		答弁を 求める者	記事
(1) ポスト遷宮の観光政策について		市長	
<ul style="list-style-type: none"> ① 出雲大社の大遷宮前と後の観光客、宿泊数の推移と今後の見込み ② 地域別の遷宮効果 ③ ポスト大遷宮の取り組み状況（全体的な取り組み、地域別取組） 			
(2) 日本型DMOによる観光地域づくりについて			
<ul style="list-style-type: none"> ① 日本型DMOの評価 ② 日本型DMOを取り入れた観光地域づくりの推進 		市長	

質問者	11 伊藤 繁 満	
質問事項・質問内容		答 弁 を 求 め る 者
(1) 農山村回帰現象と地方創生の取り組みについて伺います。		記 事
<p>① 地方創生と農山村の活性化について伺います。</p> <p>ア 農山村に移住（I・Uターン）されている社会増の実態について</p> <p>イ 人口減少に対応したロボット戦略と導入の積極的推進について</p> <p>ウ 出雲地方は、豊かな自然と多くの農産物、海産物がありその宝庫である。地産地消を積極的に進め、一次産業を六次産業化等へ活性化させることについて</p> <p>エ 出雲市総合戦略の視点と長期的戦略（20年、30年）のビジョンについて</p> <p>オ 総合戦略に係る施策推進に要する概算事業費はいくらか。</p> <p>② 出雲平野の散居村景観と築地松の景観保全について伺います。</p> <p>ア 第12回全国散居村サミットは「散居村における地方創生について」をテーマとされ共同宣言が採択されている。議論の方向と、今後の取り組みに活かすべきものは何か</p> <p>イ 屋敷林が築地松に囲まれている散居村は全国では出雲平野のみである。観光スポットとして国内、国外に積極的にPRすることについて</p> <p>③ 出雲平野の魅力づくりについて伺う。</p> <p>ア 出雲平野の豊かな自然と景観、多くの伝統文化、豊かな食材をリンクさせ世代間を超えた観光客を受け入れ地方創生を図ることについて</p>		市長

質問者	3 湯 浅 啓 史	
質問事項・質問内容		答 弁 を 求める者
(1) 公共施設等の社会インフラの再配置と今後の整備見通しについて		記 事
<p>① 少子高齢化が更に進展し人口減少も予想される中、市街地が無秩序に拡散していく事（スプロール化）は、都市を維持するコストの増大を招き、持続可能な都市運営ができないと考える。これに対し、望ましい都市構造の方向として「集約型都市構造」への転換が「コンパクトシティ」という言葉で説明される事が多い。また、最近は「小さな拠点」という考え方も示されている。</p> <p>今後の都市構造の方向を示す以下の項目について、市の考え方を示されたい。</p> <p>ア スプロール化 イ コンパクトシティ ウ 小さな拠点</p> <p>② 現在の出雲市行財政改革の起点となったとも言える、「出雲市財政計画（平成24年12月）」「今後の公共施設のあり方について（平成24年9月）」では、市が保有する約800の公共施設について、「現在の施設をそのまま存続することは極めて困難」と結論づけている。今後の公共施設は複合化・多機能化が重要、更に民と官が協働する方向も大切でありPFIを含め民間活力導入が必要と考える。</p> <p>公共施設他、社会インフラ整備について、市の考えを示されたい。</p> <p>ア 道路や橋梁についての維持管理費、補修・架替え等の費用についての検討はされているのか イ 複合施設、多機能施設、官民の協働という方向に対応する体制をどうとるのか ウ 廃止・統合の方針が示された施設や遊休地については、民間からの提案を募集してはどうか エ 統合の方針が示された、出雲体育館と平田体育館についてどのような検討がされているか</p>		市長

質問者	15 小村吉一		
質問事項・質問内容		答弁を 求める者	記事
(1) 「安保関連法」いわゆる「戦争法」について問う		市長	
<p>① 国民の多数が反対している中で、「安保関連法」いわゆる「戦争法」が自民党などの多数で可決された。 これは、立憲主義に反する反民主主義行為であるとともに、日本を戦争する国にするもので、この法は、廃止にするしかないと考える。 市長は、この一連の経過とこの法についてどのように考えるのか伺う。</p>			
(2) 雲州平田船川（旧船川）の浄化について問う		市長	
<p>① 市が県へ要望している「雲州平田船川の河川浄化と環境整備の推進について」の進捗状況を伺う。 ② 今後、どのように実現に向けて要望していくのか伺う。</p>			
(3) 出雲市まち・ひと・しごと創生総合戦略について問う		市長	
<p>① 「まち・ひと・しごと創生」（地方創生）は、人口減少問題がその中心となっている。しかし、「人口が政策目標とされる時には人間を目的とする社会でなく、人間を手段とする社会が目指されていることを忘れてはならない」という指摘もある。このことについてどのように考えるのか伺う。</p>			
<p>② 「地方創生」は、地方が“政策（アイデア）”を出し、“頑張る地域”を支援する全国一斉競争方式であるが、地方に対し、中央は何をしたか、どうするのが明確ではない。中央は何をしたか、何をするのかは、地方の政策に大きくかかわると考える。 この点について、どのように考え、「総合戦略」を作成したのか伺う。</p>			
<p>③ 「総合戦略」には、「住民参加」とりわけ一般の住民の意見を十分に反映することが最も重要だと考える。 「総合戦略」確定のために住民の声をどのように取り入れたのか伺う。</p> <p>④ 総合戦略基本目標1の基本方向、第1次産業の活性化の中に「多くの漁港を有するメリットを生かし」とあるが、たとえば「豊かな漁場、秀れた技術を所持した人々を生かし」というように記述すべきと考えるが、なぜ漁港としたのか伺う。</p>			

質問者	9 大 場 利 信		答 弁 を 求 め る 者	記 事
質 問 事 項 ・ 質 問 内 容			答 弁 を 求 め る 者	記 事
(1) 外国籍住民および児童・生徒への日本語の学習支援について再度伺う			市長	
<p>① 本市における外国籍の住民および児童・生徒の数は年々増加の一途をたどっていますが、これについて9月議会に引き続き伺う。</p> <p>ア 外国籍の住民のうち特に若い人達は定住化する可能性が高いと思われる。まち、ひと、しごと総合戦略の人口ビジョンでは、今後の外国籍住民について、どのように推計されているか、その考えを伺う。</p> <p>イ 人口定住のためには、雇用の場の提供および子育て支援制度の充実が必須要件とされているが、外国籍の住民には更に日本語学習の支援が必要である。来日間もない小学校入学前の子どもおよび小中学校年齢の子どもの就学支援、義務教育年齢を過ぎた若者の進学支援などのため、日本語学習や日本の生活や習慣を学ぶプレスクールを設置し、本人および学校をサポートすべきであると考えが所見を伺う。</p> <p>ウ 学校においては、日本語指導のスタッフの増員だけでなく多くの教育職員が対応できるよう内部から養成することも必要であると考えが、その意向を伺う。</p> <p>エ 場合によっては、日系人の通訳サポーターを学校へ配置することも考えるべきと思うが、これについて伺う。</p> <p>オ 関係者（県、企業、市教委、学校、NPO法人、外国人代表など）による情報交換や連携を行い、総合的に今後の対応などを協議する連絡協議会を設置すべきと考えるがこれについて伺う。</p> <p>カ 最後に、「出雲市多文化共生推進プラン」策定の進捗状況について伺う。</p>				
(2) P F I 方式による公共施設の建設等について			市長	
<p>① 本市は行財政改革集中期間の最中であり、財政規律に十分配慮しなければならないことは重々承知しているが、地域の活力の維持も行政の大きな役割である。地域においては公共施設の速やかな建設や改築を待ち望んでいる人々はたくさんおられます。これに応えるため、一つの方策として、P F I 方式による今後の公共施設の建設等に取り組むことは効果的な方法と考えるが、これについて以下に伺う。</p> <p>ア 公共施設の老朽化や統廃合により新設や改築が必要と思われる施設数およびP F I 方式を採用できると思われる施設の数伺う。</p> <p>イ P F I 方式を採用する際の課題と解決すべき事項は何か。</p> <p>ウ 行財政改革とは抵触しないと考えるが、見解を伺う。</p> <p>エ メリットは大きいと考えるが意向を伺う。</p>				

質問者	17 松村豪人		
質問事項・質問内容		答弁を 求める者	記事
(1) 国の新公立病院改革ガイドラインについて		市長	
<p>① 国においては、平成27年3月に新公立病院改革ガイドラインを示し、自治体に対し、平成27年度または28年度のなるべく早期に改革プランを策定するよう求めている。</p> <p>ア 本市の取り組みとその方針</p> <p>イ 国の調査で、本市と同じく地方公営企業法の全部適用に移行した100病院のうち、経営の自主性に効果ありと回答したのは76%で、経営の効率化に効果ありとしたのは68%であった。 地方独立行政法人に移行した48病院のうち、経営の自主性に効果ありと回答したのは100%であった。 また、経営の効率化に効果ありとしたのは87.5%であった。 この調査結果をどう考えるか。</p> <p>ウ 国の調査では、公立病院で、地方独立行政法人化した病院のうち、医業収支比率が改善した病院は全体の75.5%という結果が出ている。 この調査結果をどう考えるか。</p>			
(2) がん撲滅対策推進条例が制定された後の取り組みは		健康福祉 部長	
<p>① 同条例が平成19年に制定され、以降の本市としての取り組みを伺う。</p> <p>ア 第2条で市の責務として掲げられている、実効性のある取り組みとは具体的にどのようなものであったか</p> <p>イ がんに対する正しい理解は得られてきたのか</p> <p>ウ がん検診の受診率向上のための施策の効果とは</p>			
(3) 国営緊急農用地再編整備事業の見通しは		市長	
<p>① 宍道湖西岸地区緊急農地再編整備事業について</p> <p>ア 経過と現状</p> <p>イ 今後の見通し</p> <p>ウ 本市としてどう関わっていく考えか</p>			

質問者	7 福 島 孝 雄	答 弁 を 求 め る 者	記 事
質 問 事 項 ・ 質 問 内 容			
(1) 出雲市における健康寿命の取り組みについて		市長	
<ul style="list-style-type: none"> ① 健康寿命の算定方式について。 <ul style="list-style-type: none"> ア 国と県・市の違いとその理由を伺う。 イ 出雲市民の平均健康寿命期間を伺う。 ② 出雲市の65歳以上の高齢者で介護（要介護）（要支援）が必要となった原因の統計を伺う。（病状と人数） ③ 各地区の健康づくりの取り組み、及び健康づくり推進員の現状と課題を伺う。 ④ 「いきいきupいずも健トレ教室」の現状と課題を伺う。 ⑤ 健康寿命を伸ばす政策としての「健康マイレージ」（健康づくりを促進する為のポイント制度）について <ul style="list-style-type: none"> ア 全国の取り組み状況を伺う。 イ 市としての考えを伺う。 ⑥ 今後の各種検診、及び健康意識の向上策を伺う。 			
(2) 中山間地域の「農林水産業」活性化について		市長	
<ul style="list-style-type: none"> ① 中山間地域の「農林水産業」の所得向上について <ul style="list-style-type: none"> ア 中山間地域産業（農林水産業）に対するTPPの影響を伺う。 イ 市としての所得向上につながる施策について伺う。 ウ 新たなブランド化推進について伺う。 ② 中山間地域産業である「農林水産業」の取り組みについて <ul style="list-style-type: none"> ア 「自然・農林水産業・観光」をテーマとした新たな「まちづくり」の考えはないか伺う。 			

質問者	8	原 正 雄		
質問事項・質問内容			答 弁 を 求 め る 者	記 事
(1) 出雲大社の平成の大遷宮効果を持続する方策について			経済環境 部長	
<p>① 総合戦略の基本目標（1）「出雲の特性を活かした魅力ある雇用の場を創出する」基本的方向③「観光関連産業の活性化」の具体的施策の中に「出雲大社及び周辺の観光資源の活用」とされている。</p> <p>ア 平成の大遷宮の間の入り込み数及びその年からこれまで平成25年～平成27年それぞれの数は</p> <p>イ 遷宮祭祀後はどの程度を考え具体的な方策を持っているのか。縁結びの神として何らかのイベント等考えられたと思うがどうか。</p>				
(2) 民間によるCCRC創出支援の施策は何か			総合政策 部長	
<p>① 総合戦略の基本目標（2）「出雲との縁をつなぎ、ひとの流れをつくる」基本的方向②「移住促進」の具体的施策の中に「民間によるCCRC創出への支援」とあるが、</p> <p>ア どの地域を対象としているのか</p> <p>イ 民間とは何かあてがあるのか。あるとすればどのような支援策なのか</p>				

質問者	20 板倉一郎		答弁を 求める者	記事
質問事項・質問内容				
(1) 子育てと仕事の両立支援（保育園の充実）について				
<p>① 出雲市の待機児童の状況および待機児童解消に向けた取り組みについて伺う。</p> <p>② 女性や若年層が多数従事する流通・サービス産業は、出雲市の主要産業として、また当市の観光を支える上で重要になってきている。土日、祝日、年始年末に働くケースや、夜の勤務もある。そうした中で、保育所のサービスの充実を求める声が多くなっている。そこで、次の点を伺う。</p> <p>ア 現在の休日保育、延長保育の状況について伺う。 （サービスの内容および受け入れ可能な保育園および園児の数）</p> <p>イ 今後、休日保育および延長保育時間を増やす考えはあるのか伺う。</p> <p>③ その他保育園以外の支援策には、どのようなものがあるのか伺う。</p>		市長		
(2) 子どもの学力向上への取り組みについて				
<p>① 10月に、平成27年度全国学力学習状況調査結果分析および改善策を策定されたが、その内容について伺う。</p> <p>② 秋田市の学力向上に対する取り組みについて研修してきた。それに基づき次の点を伺う。</p> <p>ア 先生の授業力向上の取り組みは、どのようになされているのか伺う。</p> <p>イ 子どもの学習意欲向上のための取り組みは、どのようになされているのか伺う。</p> <p>ウ 先生が子どもに向き合う時間を確保するための、先生に対する負担軽減の取り組みについて伺う。</p>		教育長		

質問者	14 板垣成二	
質問事項・質問内容		答弁を 求める者
(1) 入札制度について		記事
<p>① 地震、台風、ゲリラ豪雨など、近年、大きな自然災害が全国的に発生しています。災害復旧工事や、万が一の事態が発生した時の速やかな救出活動には地域に密着した建設業者の皆さんに従事していただいています。また、これから雪の季節ですが、早朝からの除雪や凍結防止のための作業も地域密着の建設業者の皆さんに活躍していただいています。</p> <p>しかし、公共工事は平成17年の合併時から大幅な減になっており、受注競争が一段と激しくなっています。そのような中、除雪路線であっても担当していただいている業者が受注ができなかったり、大小問わず災害が発生すれば対応していただいている業者にその地域の工事の受注ができないという事態が頻繁に発生しています。自由競争であり、当然業者の皆さんの経営努力も必要ではありますが、地域の維持、市民の皆さんの安全・安心を確保するという観点からは看過できない状況にあり、現在の入札制度を改善する必要があると思います。</p> <p>市長の見解を伺います。</p>		市長
(2) 除雪体制について		
<p>① これから雪のシーズンを迎えます。毎年除雪に従事していただいている建設業者の中には、除雪機械を維持していくことが困難な状況があります。また、オペレーターの確保も大きな課題になっています。そこで以下の点について伺います。</p> <p>ア 除雪機械、除雪体制の現状は。</p> <p>イ 今後の除雪機械の確保、除雪体制の見通しと、除雪機械・除雪体制確保に向けた市の施策は。</p>		市長

質問者	10 井原 優		
質問事項・質問内容		答弁を 求める者	記事
(1) TPP「大筋合意」について		市長	
<p>① 市長は、これまでTPPについては反対の立場を表明されて来ました。TPPの「大筋合意」は、国会決議である重要5品目を除外することをせず、その一部品目については関税を撤廃するものとなっています。農業を基幹産業とする本市にとっても大きな影響が出ることは必至です。TPPの批准を中止、撤回を求めるべきと考えますが所見を伺います。</p> <p>② 仮に、TPPが批准された場合、米やぶどう、柿、いちじくなどどのような影響を受けると想定されているのか伺います。</p>			
(2) 雇用促進住宅の譲渡・廃止の取り組み状況について		市長	
<p>① 市は、雇用促進住宅の譲り受けに関して、施設の老朽化、民間賃貸借住宅の空き状況、財政状況等から総合的に検討した結果「住宅を譲り受けない」としました。そして6宿舍の入居者及び関係者に対し「民間売却意向調査」を実施しました。その結果、機構は平成26年3月廃止対象となっている「松寄」「白枝」「雲州平田」各宿舍とも民間売却に対する同意がとれ、その旨を各入居者に通知し、現在民間売却への準備を進めています。</p> <p>ア 現在、「松寄」「白枝」「雲州平田」の各宿舍で進められている民間譲渡の状況はどのようになっているか伺います。</p> <p>イ 市は、各宿舍の入居者の居住権を保障する立場からどのような支援を行う考えか伺います。</p> <p>ウ 「塩治宿舍」「西出雲宿舍」「斐川宿舍」について、今後の進め方は、どのようにされるか伺います。</p>			

質問者	5 寺 本 淳 一	
質問事項・質問内容		答 弁 を 求 め る 者
(1) 出雲市内の空き家相談の現状と空家対策ネットワークの構築について		記 事
<p>① 人口減少、少子高齢化の影響から、全国的に空家問題が深刻化しています。そのような中、昨年11月に空家等対策の推進に関する特別措置法が成立しました。市としても早急に空き家対策を具体的に進めていかなければなりません。そこで現在の状況と今後の対策を伺います。</p> <p>ア 市が設置した「出雲市空家等対策協議会」で議論された空家等対策の内容。</p> <p>イ 特措法成立以降の苦情相談件数。管理不全と思われる空家と利活用可能な空家の相談件数。</p> <p>ウ 現在、空家等の相談は防災安全課が総合窓口となっているが、空家バンクなどは縁結び定住課が担当している。今後具体的に空家対策を進めていくのであれば、誰にも分かりやすいように窓口完全一本化すべきと考えるが。</p> <p>エ 今後、空家の課題解決に向けては、民間のノウハウを活用すべきと考えます。実行性のある専門的知識をもつ民間で構成された組織（団体）を設立し、空家の維持、管理、利活用等の提案を示してもらい、市と連携しながら解決を図っていくのが有効と思いますが市の考えは。</p> <p>オ 相談者や移住を考える人が信頼し、安心して相談できる、市、民間、地域がスムーズに連携できるネットワークを構築すべきと考えるが市の見解を伺います。</p>		市長

質問者	23 福代秀洋	
質問事項・質問内容		答弁を 求める者
(1) 出雲市の交通政策について		記事
<p>① 出雲市に於ける総合的な都市・地域の交通戦略について</p> <p>ア 現状・将来の市内交通の課題をどのようにとらえているのか、またその対策をお伺いします。</p> <p>イ 国の都市・地域総合交通戦略政策について、出雲市としてどのようにとらえているのか。また、出雲市には同様な構想・計画が策定されているのか、出雲市の交通政策が、何に基づきどのように行われているのかお伺いします。</p> <p>② 一畑電車の支援活用状況について</p> <p>ア 平成24年3月総合交通対策特別委員会の委員長報告により求められた次の項目、（経営努力による収支の改善、社員教育の徹底、市民・沿線住民への配慮）について、どのような取り組みがなされ、どのような成果があがっているのかお伺いします。</p> <p>③ 市内のバス交通について</p> <p>ア 地域内ネットワークの均一料金制についてどのように検討されているのかお伺いします。</p> <p>④ 公共交通の利用促進について</p> <p>ア 市全体および市役所内でどのような取り組みを行い、どのような成果があがっているのかお伺いします。</p>		総合政策 部長

質問者	4 神 門 至		答 弁 を 求 め る 者	記 事
質問事項・質問内容				
(1) 東京2020年オリンピック・パラリンピックへの対応について			市長	
<p>① オリンピック・パラリンピックの開催にあたり、地方（他県）における取り組みについての情報があれば紹介していただきたい。また、島根県としての取り組み方針・状況についてはどのようになっているのか伺います。</p> <p>② その状況を踏まえ、スポーツ振興の視点において、出雲市としての取り組み方針や具体的な計画をどのように考えているのか伺います。</p> <p>③ 観光振興などによる地域活性化の視点において、オリンピック・パラリンピックに向けた出雲市の取り組みはどのようなものか。また、それに伴う出雲市へのインバウンドへの対応（情報発信、外国語ガイドの養成、Wi-Fi施設の増設等）が必要と考えるがいかがか。</p>				
(2) カラスなどの鳥獣対策について			農林水産 部長	
<p>① これまでの 市内における鳥獣被害の状況・捕獲実績（昨年度比）について伺います。</p> <p>ア シカ</p> <p>イ イノシシ</p> <p>ウ ヌートリア</p> <p>エ タヌキ</p> <p>オ カラス</p> <p>カ その他</p> <p> a クマ</p> <p> b サル</p> <p>② その被害に対して、これまで、どのような対策（予算含む）がなされてきたのか伺います。</p> <p>③ また、その対策（予算含む）に対して、どのような課題があるのか伺います。</p> <p>④ 今後の対策（予算を含む）に対して、どのように考えているのか伺います。</p>				

質問者	27 米 山 広 志		
質問事項・質問内容		答 弁 を 求 め る 者	記 事
(1) 前原一誠		市長	
① 前原一誠と出雲市のかかわり ② 日御碕地区の活動に対する支援			
(2) 認可保育所等の定員		市長	
① 島根県から出雲市に対して具体的な指摘事項 ② 定数変更はどのような手続きで決定されたか ③ 415人増員による出雲市と保育所への影響 ④ 施設の設置者と意思疎通を図り、その意向を十分に考慮されたか			
(3) 朱鷺会館の固定資産税		市長	
① 土地・建物の所有者 ② 土地・建物の固定資産税は全額減免か ③ 出雲市が主催する事業・会議等で過去（5年間）と今年度の会場使用料を支払ったそれぞれの年度と事業と金額			

質問者	26 勝部 順子	
質問事項・質問内容		答弁を 求める者
(1) 子どもの貧困対策について		記事
<p>① 日本の子どもの貧困率が（平均的な所得の半分以下で暮らす18歳未満の子どもの割合）は、1985年に10.9%だったものが、2012年には16.3%になっています。6人に1人の子どもが貧困状態となっています。先進国で構成するOECD（経済協力開発機構）加盟34カ国中で10番目の高さになっています。</p> <p>ア 出雲市内の子どもの現状を把握されていますか。</p> <p>イ 教育現場の状況</p> <p> a 就学援助制度の状況と、推移について</p> <p> b 部活動に対する支援について</p> <p>ウ 国の動きに先行して、子どもの貧困対策を進めている自治体もあります。出雲市として、子どもの貧困対策について伺います。</p> <p> a 「早期発見・早期支援」のために、子どもの貧困対策に取り組む専門部署の設置。</p> <p> b 相談窓口のワンストップ化</p> <p> c 子どもの家庭生活の安定化や、基礎学力の向上に対する取り組み</p>		市長
(2) 市の施設の自動販売機の設置について		
<p>① 近年、公共施設に「Wi-Fi付き自動販売機」や災害時に飲料を無償で提供することが出来る自販機・AED搭載の自販機などの設置が広がっています。</p> <p>ア 出雲市の公共施設の自販機の設置状況</p> <p>イ 市営住宅敷地内の自動販売機の設置状況</p>		財政部長